

AV MATERIAL

ニュースクリップ & 映像教材

協会情報

■ e スクールステップアップ・キャンプ2023オンライン大会開催

(一財)日本視聴覚教育協会・日本視聴覚教具連合会主催、文部科学省共催による標記研修会をオンラインにより開催する。

<日時>令和5年11月16日(木) 15:30~19:00

<内容>基調講演、実践校取組紹介、パネルディスカッション、教育ICT教材・機材紹介等。要事前登録。詳細は、本誌20頁を参照。

<問い合わせ先>(一財)日本視聴覚教育協会
TEL 03-3431-2186

文部科学省情報

■ 生成AIの利用に関するオンライン研修会アーカイブ動画公開

文部科学省は、「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」(令和5年7月4日)を踏まえ、その方向性や活用事例等をシリーズで解説した研修会の動画を公開した。

<内容>「生成AIの基礎と教育における活用可能性」「教育活動・教務で活用できるプロンプト紹介」「生成AIを活用する上での基本的な考え方 情報活用能力の育成」「技術の進化は教育に何をもたらすのか」の4回シリーズ。視聴は、以下URLを参照のこと。<https://advisor.mext.go.jp/video/>

<問い合わせ先>文部科学省初等中等教育局学校デジタル化プロジェクトチーム

TEL 03-5253-4111 (代)

■ 文化庁「日本の技フェア」開催

文化庁では、「文化財の保存技術」の未来の伝承者・理解者の拡大等に資することを目的に、標記フェアを開催する。

<日時>令和5年11月18日(土) 10:00~17:00・19日(日) 10:00~16:00

<会場>京都市勧業館みやこめっせ第3展示場(京都市左京区岡崎成勝寺町9-1)

<内容>選定保存技術保存団体による展示・実演・体験等。入場無料だが、要事前予約制のものも有。

<問い合わせ先>文化庁参事官(生活文化創造担当) TEL 075-451-4111 (内線9564)

AV情報

■ 東京大学メタバース工学部 ジュニア工学教育プログラム(ジュニア講座)受講者募集中

東京大学では、工学や情報の学びの機会や工学キャリアに関する情報を提供すべく「メタバース工学部」を設立し、中高生を対象に「ジュニア講座」を開設し、受講者を募集している。

<内容>対象者は、中高生、保護者、教師、講座によってはそれ以外の方も受付。費用無料。開講講座は「化学システム工学入門」令和5年11月21日(火)~全3回、「地球温暖化が進んだ世界に暮らす私たちの未来を想像してみよう」令和5年11月23日(木・祝)、「デザイン×工学 ワークショップ」令和5年12月2日(土)~全3回、「意識の科学から意識のアップロードへ」令和5年12月3日(日)~全4回、「バーチャル教室でコンピュータを学ぼう(Season 2)」令和5年12月上旬予定他。詳細・申込は、以下同大学URLを参照のこと。

<https://www.meta-school.t.u-tokyo.ac.jp/junior>

■ ブックレビュー

教師の学びとライフストーリー
—若き8人の学びの軌跡

姫野完治 著
一草書房 発行
2023年8月25日発行
A5判314ページ
2,500円(税別)

本書は、8名を対象とした年1回のインタビューを通して、大学卒業後の10年間のライフストーリーをまとめたものである。当時学生だった対象者たちは、校種や勤務場所や形態は異なるが、学校の教師として教職に関わっているという点で共通している。

8名の10年間に渡る取り組みが、月ごとに主要な出来事や思い、その時の好不調の自己評価とともに一覧できるようになっており、年別に本人の語りとともに、紹介されている。これが淡々と述べられているが、だからこそ、読者なりに視点を持ちながら読むことができる。私も、ときには教員養成系の大学教員として、学校に関わる研究者として、子どもの保護者としていろんな思いを馳せながら、多

くの教師の考えの一端に触れることができた。

最終章の10章では、ライフストーリーから読み取れることを示している。ここから、初任期から中堅期の教員をどのように支えていくかというヒントを読み取ることができる。私は、本書からそれについて教員を支援するためにどのような環境を関係者が構築していくかということ、教師がどのようにそこで学び、成長していくのが良いのかという2点で構成されていると読み取った。

各ライフストーリーを読むと、これらを検討していくにあたり、その人の職場での状況の他に、パーソナルストーリー（結婚、出産や子育て）と、当時の置かれている社会的状況があるのではないかと思う。

本書で取り上げられた世代では、働き方改革や新型コロナへの対応の他に、GIGAスクール構想の実施に伴うICT活用が今後如実に入ってくるのではないかと思う。インタビューは2020年度までのことを書かれているのがほとんどなので、ICT関係のことが入っているのは少数の事例に留まっているが、GIGAスクール構想の本格化が彼らにどのように浸透していくのかをさらにその先の続編から読み取ってみたい。

(大阪教育大学教授 寺嶋浩介)

<問い合わせ先>東京大学メタバース工学部HP内（お問い合わせ）まで。

■ Inter BEE 2023

（一社）電子情報技術産業協会主催により、音と映像と通信の標記国際展示会が開催される。

<日時>令和5年11月15日（水）～17日（金）10:00～17:30（17日は、17:00まで）オンラインは、令和5年12月15日（金）まで。

<会場>幕張メッセ（千葉市美浜区中瀬2-1）

<内容>「プロオーディオ部門」「映像制作／放送関連機材部門」「エンターテインメント／ライティング部門」「メディア・ソリューション部門」の展示等。入場無料。要事前登録。

<問い合わせ先>Inter BEE 2023 HP内（お問い合わせ）まで（<https://www.inter-bee.com/ja/>）。

■ 第43回「地方の時代」映像祭2023

吹田市他主催により、「みんなの広場を取り戻そう」をテーマに標記映像祭が開催される。

<日程>令和5年11月18日（土）～24日（金）

<会場>関西大学千里山キャンパス第三学舎ソシオAVホール／100周年記念会館（大阪府吹田市山手町3-3-35）

<内容>贈賞式、記念講演、グランプリ受賞作品上映、シンポジウム、ワークショップ等。

<問い合わせ先>「地方の時代」映像祭実行委員会事務局 TEL 06-4256-8485

研究会情報

■第7回学校図書館担当指導主事研修会

(公社)全国学校図書館協議会は、「みんなで考えよう！これからの司書教諭の活動と研修」をテーマに研修会をオンラインにより開催する。

＜日時＞令和5年11月23日(木・祝)13:00～16:00

＜対象＞教育委員会および教育事務所等の学校図書館を担当する指導主事。学校長、司書教諭、学校司書、学校図書館担当教員等、学校図書館に興味関心のある方。

＜内容＞司書教諭の現状・課題を明らかにし、研修モデルプログラムを考える。グループディスカッション・報告等。参加費無料。要事前申込。申込締切は、令和5年11月22日(水)12:00。

＜問い合わせ先＞(公社)全国学校図書館協議会 研究調査部 TEL 03-6284-3722

コンクール情報

■第15回「座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル」コンペティション部門 作品募集

座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル実行委員会では、標記部門の作品を募集している。

＜応募規定＞ドキュメンタリー映画、文化映画、記録映画、科学映画、教育映画、TV番組等。作品尺は問わない。制作年次が過去3年以内(2020年以降に制作)のものに限る。応募形態は、DVD。応募料は、作品1点につき2,000円。

＜賞＞大賞 賞金10万円

＜締切＞令和5年11月30日(木)当日消印有効。

＜問い合わせ先＞(株)ドキュメンタリー・ジャパン TEL 03-5570-3551

■「東京ビデオフェスティバル2024」作品募集

NPO法人市民がつくるTVFによる標記フェスティバルでは、映像作品を募集している。

＜募集作品＞20分以内のオリジナル作品、ジャンル、テーマは自由。プロ・アマ・年齢・国籍は問わない。

＜賞＞ビデオ大賞、TVF2024アワード、TVFジャーナリズム賞、市民賞他。

＜締切＞令和5年11月30日(木)

＜問い合わせ先＞NPO法人市民がつくるTVF事務局 TEL 070-4150-2167

■エイガワールドカップ2023

高校生の自主制作映画の全国コンクールである標記コンクールの表彰式が、NPO法人映画甲子園と明治大学情報コミュニケーション学部との共同主催で開催される。

＜日程＞令和5年12月10日(日)

＜会場＞明治大学リパティホール(東京都千代田区神田駿河台1-1)

＜内容＞最終審査発表会、表彰式等。

＜問い合わせ先＞エイガワールドカップ2023 HP(お問い合わせフォーム)まで(<http://www.eigakoshien.com/>)。

■国立情報学研究所「2024年度共同研究」公募

国立情報学研究所では、わが国の情報学分野での「未来価値創成(学術創成)」を目指し、共同研究を推進するため、標記の公募を行っている。

＜応募資格＞国内大学・短期大学・高等専門学校、大学共同利用機関等に所属する研究者並びにこれらに準ずる研究者、大学院生(社会人大学院生に限る)や国内民間企業等に所属する研究者。

＜募集研究と助成＞戦略研究公募型(年間上限150万円)、研究企画会合公募型(年間上限80万円)、自由提案公募型(年間上限100万円)。

＜申請書提出期限＞令和5年12月1日(金)

＜問い合わせ先＞国立情報学研究所総務部企画課 社会連携推進室公募型共同研究担当

TEL 03-4212-2139

■「第62回(令和5年度)下中科学研究助成金」助成先募集

(公財)下中記念財団では、学校教育に携わる先生等の教育のための研究に助成を行っており、その助成先を募集している。

＜応募資格＞全国小・中・高等学校、中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校の教員、教育センターや教育委員会等において教育実務を行う方。応募は、1人1件に限る。

＜対象分野＞○自然科学・工学系、○人文・社会科学系、○その他(教育一般他)等。

＜助成金額＞総額900万円。1件あたり、30万円、30件を予定。

<締切>令和5年12月1日(金)
 <問い合わせ先>(公財)下中記念財団事務局
 TEL 03-5315-0154

学会情報

■日本NIE学会第20回大会

日本NIE学会では「情報過多社会におけるNIE実践者の育成」をテーマに標記大会を開催する。
 <日時>令和5年12月2日(土)9:30~17:45
 <会場>福岡教育大学教育学部(福岡県宗像市赤間文教町1-1)
 <内容>NIE生徒研究発表会、シンポジウム等。参加費事前申込2,500円、当日申込3,000円。事前申込締切は、令和5年11月17日(金)。
 <問い合わせ先>福岡教育大学教育学部 日本NIE学会第20回福岡大会実行委員会 小田
 TEL 0940-35-1308

■日本教育工学会研究会「学習科学／一般」

日本教育工学会では、標記をテーマに研究会を開催する。
 <日程>令和5年12月9日(土)
 <会場>職業能力開発総合大学校(東京都小平市小川西町2-32-1)
 <内容>認知科学研究や工学研究を組み合わせた教育実践研究、学習科学に関する発表等。参加費会員・非会員ともに1,000円。要事前申込。申込締切は、令和5年12月1日(金)。
 <問い合わせ先>研究委員会
 MAIL study-group-core@jset.gr.jp

各地の情報

■Educational Solution Seminar 2023 in つくば

ICTクラウド活用で実現する未来の教育DX

(一社)日本教育情報化振興会は、標記セミナーを開催する。
 <日時>令和5年11月17日(金)11:00~17:00
 <会場>つくば国際会議場(茨城県つくば市竹園2-20-3)
 <内容>教育DXの重要性や利点についてのセミナー、ICT機器展示等。入場無料。要事前申込。申込締切は、令和5年11月15日(水)。
 <問い合わせ先>富士電機ITソリューション(株)

つくばセミナー事務局 MAIL x-fsl-kitakanto-seminar2023@fujielectric.com

■令和5年度第55回愛知県学校視聴覚教育研究大会

愛知県視聴覚教育研究協議会、愛知県学校視聴覚教育研究会主催により、「主体的に学び、明るい未来を切り拓くことができる子どもの育成ーICTを活用して新たな可能性を引き出す授業・業務改善ー」を研究主題に標記大会がオンラインライブ配信により開催される。

<日時>令和5年11月17日(金)13:30~16:15
 <内容>分科会(研修、現職教育、授業での活用、業務改善、ネットワーク環境、データ分析等)。
 <問い合わせ先>豊田市教育センター 指導主事 今枝 TEL 0565-48-2051

■第72回近畿放送教育研究大会・第73回近畿学校視聴覚教育研究大会(京都大会)

日本学校視聴覚教育連盟、近畿学校視聴覚教育連盟他により、「心に響き、豊かな感性を育むために~GIGAで未来を切り拓く~」を大会主題に標記大会が開催される。

<日時>令和5年11月17日(金)9:40~16:20
 <会場>京都アスニー(京都市生涯学習総合センター 京都市中京区丸太町通七本松西入)他
 <内容>校種別研究実践交流会、NHKプレゼン・全体会、講演会等。参加費無料。事前参加申込。申込締切は、令和5年11月15日(水)。
 <問い合わせ先>京都放送教育研究協議会事務局長 伊藤(京都市立小栗栖富山小学校)
 TEL 075-572-5216

文部科学省選定作品

■9月選定 紙しばい DVD

「みんなのくるみのき」 8枚<幼稚園/幼児、教養>(株)童心社
 「SDGs教育用アニメ『サスチェン』③」 40分<少年・青年、国際性(その他)>(株)第一エージェンシー
 映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。
https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/
 ※本欄掲載のイベント開催等の最新情報は、主催者<問い合わせ先>に、ご確認ください。